

～ 林原賞 ～



Bin Feng

略 歴

昭和45年6月7日生
平成7年7月 遼寧師範大学大学院修士課程修了
平成10年7月 瀋陽農業大学大学院博士課程修了
平成10年7月 遼寧師範大学生物工程研究所・助手
平成11年11月 中国科学院遺伝と発育生物学研究所・博士研究員
平成13年9月 遼寧師範大学生物科・助教授
平成14年8月 中国科学院大連化学物理研究所・非常勤研究員
平成16年7月 岡山大学大学院自然科学研究科・非常勤研究員
平成18年8月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・特任助教
平成21年5月 大連医科大学基礎医学院・准教授
現在に至る

研究論文内容要旨

神経膠芽腫に対してボロン中性子捕捉療養の臨床研究が実施されている。本治療法が奏功するには、ボロンをいかに腫瘍細胞にのみ多く導入させられるかが重要である。現在臨床研究で使用されているボロン製剤は腫瘍特異性が無い。本研究では、神経膠芽腫細胞に高発現している EGFR のバリエーションを認識する抗体を付加したイムノリポソームを開発した。このリポソーム内にボロン製剤の BSH を封入し、腫瘍細胞ならびに脳腫瘍モデルマウスに投与した。すると、ボロン製剤が脳腫瘍に特異的に導入されることが明らかになった。